

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	数学 I	3 単位	1 年	必履修
選択条件				
対象者	1 年生全員			
取得資格				
学習の アドバイス	数学は積み重ねが重要な教科です。授業で理解できなかった事がらや解けなかった問題などはそのままにせず、周りの人や数学の先生に聞いて必ず解決してから次の授業に臨むようにしましょう。特に、数学が苦手な人は、「授業態度を良くすること」、「提出物を必ず出すこと」を徹底しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「最新 数学 I」 <副教材> 数研出版「新課程 書き込み式シリーズ パラレルノート 数学 I」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4 5	第1章 数と式	第1節 数と式 1. 多項式 2. 多項式の加法・減法・乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫 5. 因数分解 【1学期中間考査】	□ 定	□ 定	観 発 提
		第2節 実数 7. 実数 8. 根号を含む式の計算	□ 定	□ 定	観 提
6		第3節 1次不等式 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1次不等式の解き方 12. 連立不等式 13. 不等式の利用 【1学期期末考査】	□ 定 小	□ 定 提	観 発 提
		第2章 集合と命題 1. 集合と部分集合 2. 共通部分、和集合、補集合 3. 命題と集合 4. 命題と証明	□ 定 小	□ 定	観 提
7					

9	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ 1. 関数 2. 関数とグラフ 3. $y = ax^2$ のグラフ 4. $y = ax^2 + q$ のグラフ 5. $y = a(x-p)^2$ のグラフ 6. $y = a(x-p)^2 + q$ のグラフ 7. $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【2学期中間考査】</div> 8. 2次関数の最大・最小 9. 2次関数の決定	ワ 定 小	ワ 定 提	観 発 提
		第2節 2次方程式と2次不等式 10. 2次方程式 11. 2次関数のグラフとx軸の共有点 12. 2次不等式 13. 2次不等式の利用 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【2学期期末考査】</div>	ワ 定 小	ワ 定 提	観 発 提
12	第4章 図形と計量	第1節 三角比 1. 鋭角の三角比 2. 三角比の利用 3. 三角比の相互関係 4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角	ワ 定 小	ワ 定 提	観 発 提
		第2節 正弦定理・余弦定理 6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【学年末臨時考査】</div>	ワ 定 小	ワ 定 提	観 発 提
2	第5章 データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり 4. データの相関 5. 相関係数 6. 分割表 7. 仮説検定の考え方 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【学年末考査】</div>	ワ 定 小	ワ 定 提	観 発 提
3		課題学習	ワ	ワ 提	観 発 提

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	数学Ⅱ	2/4単位	2年	選択
選択条件	1年生で数学Ⅰを履修した人			
対象者	2年生 進学系列人文コース（3年生での数学Ⅱ 2単位（計4単位）が継続履修となる）			
取得資格				
学習のアドバイス	数学Ⅰを土台とし、学習を進めていく科目になります。少し難しい計算や考え方が必要になりますが、単なる知識だけではなく、見通しを持ち筋道をたてて考える論理的思考力を伸ばすことを目指します。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「最新 数学Ⅱ」 <副教材> 数研出版「新課程 書き込み式シリーズ パラレルノート 数学Ⅱ」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1章 式と証明	第1節 式と計算	□ 定 小	□ 定 提	観 提
5		1. 多項式の乗法と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算			
		【1学期中間考査】			
6		4. 分数式の乗法・除法 5. 分数式の加法・減法 6. 恒等式			
7		第2節 等式・不等式の証明			
		7. 等式の証明			
	【1学期期末考査】				
9	第2章 複素数と方程式	8. 不等式の証明 9. 相加平均と相乗平均	□ 定 小	□ 定 提	観 提
10		第1節 複素数と2次方程式の解			
		1. 複素数 2. 2次方程式の解と判別式 3. 解と係数の関係			
		【2学期中間考査】			

11		第2節 高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式の解法	ワ 定	ワ 定	観 提
12	第3章 図形と方程式	第1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点	ワ 定	ワ 定 提	観 提
		【2学期期末考査】			
1		3. 直線の方程式 4. 2直線の平行と垂直			
		第2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線	ワ 定	ワ 定 提	観 提
2		第3節 軌跡と領域 7. 軌跡 8. 不等式の表す領域 9. 連立不等式と領域	ワ 定	ワ 定 提	観 提
3		【学年末考査】			

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	数学Ⅱ	4単位	2年	選択
選択条件	1年生で数学Ⅰを履修した人			
対象者	2年生 進学系理数コース			
取得資格				
学習のアドバイス	数学Ⅰを土台とし、学習を進めていく科目になります。少し難しい計算や考え方が必要になりますが、単なる知識だけではなく、見通しを持ち筋道をたてて考える論理的思考力を伸ばすことを目指します。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「最新 数学Ⅱ」 <副教材> 数研出版「新課程 書き込み式シリーズ パラレルノート 数学Ⅱ」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1章 式と証明	第1節 式と計算 1. 多項式の乗法と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算 4. 分数式の乗法・除法 5. 分数式の加法・減法 6. 恒等式	□ 定 小	□ 定 提	観 提
5		第2節 等式・不等式の証明 7. 等式の証明 8. 不等式の証明 9. 相加平均と相乗平均 【1学期中間考査】	□ 定	□ 定 提	観 提
6		第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1. 複素数 2. 2次方程式の解と判別式 3. 解と係数の関係	□ 定 小	□ 定 提	観 提
	第2節 高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式の解法	□ 定	□ 定	観 提	

7	第3章 図形と方程式	第1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 【1学期期末考査】 3. 直線の方程式 4. 2直線の平行と垂直	ワ 定	ワ 定 提	観 提
		第2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線	ワ 定	ワ 定 提	観 提
		第3節 軌跡と領域 7. 軌跡 研究. 線分の midpoint の軌跡 8. 不等式の表す領域 9. 連立不等式と領域	ワ 定	ワ 定 提	観 提
10	第4章 三角関数	第1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数を含む方程式、不等式 【2学期中間考査】	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
		第2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	ワ 定	ワ 定 提	観 提
11	第5章 指数関数と対数関数	1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ 3. 対数 4. 対数の性質 5. 対数関数とそのグラフ 6. 常用対数 【2学期期末考査】	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
12	第6章 微分法と積分法	第1節 微分法 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. いろいろな関数の微分 4. 接線 5. 関数の増減 6. 関数の極大・極小 7. 関数の最大・最小 8. 方程式・不等式への応用 【学年末臨時考査】	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
		第2節 積分法 9. 不定積分 10. 不定積分の計算 11. 定積分 12. 定積分の性質 13. 面積 【学年末考査】	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
3		課題学習	ワ	ワ 定	観 提

評価方法

ワ：ワークシート・ノート 提：提出物 定：定期考査 小：小テスト 発：発表 観：観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	数学Ⅱ	2/4単位	3年	選択
選択条件	1年生で数学Ⅰを履修した人			
対象者	3年生 進学系列人文コース（2年生での数学Ⅱ2単位（計4単位）の継続履修となる）			
取得資格				
学習のアドバイス	数学Ⅰを土台とし、学習を進めていく科目になります。少し難しい計算や考え方が必要になりますが、単なる知識だけではなく、見通しを持ち筋道をたてて考える論理的思考力を伸ばすことを目指します。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「最新 数学Ⅱ」 <副教材> 数研出版「新課程 書き込み式シリーズ パラレルノート 数学Ⅱ」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第4章 三角関数	第1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 3. 三角関数 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【1学期中間考査】</div> 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数を含む方程式、不等式	□ 定 小	□ 定 提	観 提
5		第2節 加法定理 6. 加法定理 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【1学期期末考査】</div> 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	□ 定	□ 定 提	観 提
6					
7					
9	第5章 指数関数と対数関数	1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ 3. 対数 4. 対数の性質 5. 対数関数とそのグラフ 6. 常用対数 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">【2学期中間考査】</div>	□ 定 小	□ 定 提	観 提
10					

11 12	第6章 微分法と積分法	第1節 微分法 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. いろいろな関数の微分 4. 接線 5. 関数の増減 6. 関数の極大・極小 7. 関数の最大・最小	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
		【2学期期末考査】			
1 2	第6章 微分法と積分法	第2節 積分法 9. 不定積分 10. 不定積分の計算 11. 定積分 12. 定積分の性質 13. 面積	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
3		【学年末考査】			
		課題学習	ワ	ワ 定	観 提

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	数学A	2単位	2年	必修
選択条件				
対象者	2年生全員			
取得資格				
学習のアドバイス	授業をしっかりと聞き、分からなかったところはその授業中に解決するようにしましょう。授業の復習をしっかりと行い、提出物は必ず出しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「最新 数学A」 <副教材> 数研出版「新課程 書き込み式シリーズ パラレルノート 数学A」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	第1章 場合の数と確率	第1節 場合の数 1. 集合 2. 集合の要素の個数 3. 樹形図、和の法則、積の法則	□ 定	□ 定 提	観 提
5		【1学期中間考査】			
6		4. 順列 5. 円順列と重複順列 6. 組合せ	□ 定 小	□ 定	観 提
7		【1学期期末考査】			
9		第2節 確率 7. 確率の意味 8. 確率の計算 9. 確率の基本性質 10. 和事象の確率 11. 余事象の確率	□ 定	□ 定	観 提
10		【2学期中間考査】			
11	12. 独立な試行の確率 13. 反復試行の確率 14. 条件付き確率 15. 期待値	□ 定	□ 定 提	観 提	

12	第2章 図形の性質	第1節 三角形の性質 1. 角の二等分線と比 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">【2学期期末考査】</div> 2. 三角形の外心、内心、重心 3. チェバの定理 ・メネラウスの定理	ワ 定	ワ 定 提	観 提
		第2節 円の性質 4. 円周角の定理 5. 円に内接する四角形 6. 円と接線 7. 接線と弦の作る角 8. 方べきの定理 9. 2つの円	ワ 定	ワ 定	観 提
		第4節 空間図形 1 2. 空間における直線と平面 1 3. 多面体 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">【学年末考査】</div>	ワ 定	ワ 定	観 提
		第3節 作図 1 0. 基本の作図 1 1. いろいろな作図	ワ 定	ワ 定	観 提

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	数学B	2単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年 進学系列理数コース			
取得資格				
学習のアドバイス	授業をしっかりと聞き、分からなかったところはその授業中に解決するようにしましょう。授業の復習をしっかりと行い、提出物は必ず出しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 数研出版「最新 数学B」 <副教材> 数研出版「新課程 書き込み式シリーズ パラレルノート 数学B」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法			
			知・技	思・判・表	主体的	
4	第1章 数列	第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	□ 定 小	□ 定	観 提	
5		【1学期中間考査】				
6		6. 和の記号 Σ 7. 自然数の2乗の和 8. いろいろな数列の和 9. 階差数列	□ 定 小	□ 定 提	観 提	
7		【1学期期末考査】				
9		第2節 漸化式と数学的帰納法 10. 漸化式と一般項 11. 数学的帰納法	□ 定	□ 定 提	観 提	
10		第2章 統計的な推測	第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値 3. 分散と標準偏差	□ 定	□ 定	観 提
			【2学期中間考査】			
			4. 二項分布 5. 二項分布と期待値、分散と標準偏差			

11		研究. 二項分布のグラフ	ワ	定	ワ	定	観	提		
12		6. 連続型確率変数								
		7. 正規分布								
		8. 二項分布の正規分布による近似								
		【2学期期末考査】								
1		第2節 統計的な推測	ワ	定	ワ	定	提	観	提	
		9. 母集団と標本								
		10. 標本平均の分布								
		11. 母平均の推定								
		12. 母比率の推定								
2		13. 仮説検定								
		【学年末考査】								
3	第3章 数学と社会生活	第1節 数学を用いた考察	ワ	定	ワ	定	提	観	発	提
		1. ごみの量の推定								
		2. シェアサイクル								

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	○数学Ⅰ研究	2単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 生活・福祉系列、ビジネス系列			
取得資格				
学習のアドバイス	1年生で学習した「数学Ⅰ」の復習をする授業です。演習中心の授業なので、周りの人と教え合いながら問題を解決していきましょう。特に、数学が苦手な人は、「活動に参加すること」、「授業態度を良くすること」、「提出物を必ず出すこと」を徹底しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 中部日本教育文化会「反復学習 マスターノート 数学Ⅰ」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「数学Ⅰ」における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	(1) 数と式	① 数と式 1. 多項式 2. 多項式の加法・減法・乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫 5. 因数分解	□ 定	□ 定 提	観 発 提
5		② 実数 7. 実数 8. 根号を含む式の計算	□ 定	□ 定	観 提
6		【1学期中間考査】			
6	(2) 集合と命題	③ 1次不等式 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1次不等式の解き方 12. 連立不等式 13. 不等式の利用	□ 定	□ 定	観 発 提
7		1. 集合と部分集合 2. 共通部分、和集合、補集合 3. 命題と集合 4. 命題と証明	□ 定	□ 定	観 提
		【1学期期末考査】			

9	(3) 2次関数	① 2次関数とグラフ 1. 関数 2. 関数とグラフ 3. 2次関数のグラフ 4. 2次関数の最大・最小 5. 2次関数の決定	ワ 定 小	ワ 定 提	観 発 提
10		② 2次方程式と2次不等式 6. 2次方程式 7. 2次関数のグラフとx軸の共有点 8. 2次不等式 9. 2次不等式の利用			
11		【2学期中間考査】			
12	(4) 図形と計量	① 三角比 1. 鋭角の三角比 2. 三角比の利用 3. 三角比の相互関係 4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角	ワ 定 小	ワ 定	観 発 提
		② 正弦定理・余弦定理 6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量	ワ 定	ワ 定 提	観 発 提
1	第5章 データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり 4. データの相関 5. 相関係数 6. 分割表	ワ 定	ワ 定 提	観 発 提
2		【学年末考査】			
3					

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	○数学ⅠA研究	2単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 進学系列			
取得資格				
学習のアドバイス	1・2年生で学習した「数学Ⅰ」「数学A」の復習をする授業です。演習中心の授業なので、周りの人と教え合いながら問題を解決していきましょう。特に、数学が苦手な人は、「活動に参加すること」、「授業態度を良くすること」、「提出物を必ず出すこと」を徹底しましょう。			
教材 実習費等	<教材> 中部日本教育文化会「反復学習 マスターノート 数学Ⅰ+A」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「数学Ⅰ」および「数学A」における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4	【数学Ⅰ】 (1) 数と式	① 数と式 1. 式の展開 2. 因数分解	ワ 定	ワ 定 提	観 提
		② 実数 3. 実数 4. 根号を含む式の計算	ワ 定	ワ 定 提	観 提
		③ 1次不等式 5. 1次不等式 6. 連立不等式 7. 不等式の利用	ワ 定	ワ 定	観 提
5		【1学期中間考査】			
6	(2) 2次関数	① 2次関数とグラフ 1. 2次関数のグラフ 2. 2次関数の最大・最小	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
7		② 2次方程式と2次不等式 3. 2次方程式 4. 2次不等式 5. 2次不等式の利用			
9	(3) 図形と計量	① 三角比 1. 鋭角の三角比 2. 鈍角の三角比	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
		② 図形の計量 3. 正弦定理・余弦定理 4. 三角形の面積			

10	(4) データの分析	1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり 4. データの相関 5. 相関係数 6. 分割表 【2学期中間考査】	ワ 定	ワ 定 提	観 提
	(5) 集合と命題	1. 集合 2. 命題と条件 3. 命題と論証	ワ 定	ワ 定	観 提
11	【数学A】 (6) 場合の数と確率	① 場合の数 1. 場合の数 2. 順列・組合せ ② 確率 3. 確率 4. 様々な確率 【2学期期末考査】	ワ 定 小	ワ 定 提	観 提
12	(7) 図形の性質	① 三角形の性質 1. 角の二等分線と比 2. 三角形の外心・内心・重心 3. チェバの定理 ・メネラウスの定理 ② 円の性質 1. 円と角度 2. 円と接線 3. 方べきの定理 【学年末考査】	ワ 定	ワ 定 提	観 提
1					
2					
3					

評価方法

□ : ワークシート・ノート □ : 提出物 □ : 定期考査 □ : 小テスト □ : 発表 □ : 観察 など

教科名	科目名	単位数	履修年次	必・選択
数学	○数学Ⅱ研究	3単位	3年	選択
選択条件				
対象者	3年生 進学系列理数コース			
取得資格				
学習のアドバイス	「数学Ⅱ」の内容の演習が中心の授業です。問題演習を通して、論理的に筋道を立てて考える力や粘り強く問題を解く力を身に付けます。積極的に取り組みましょう。			
教材 実習費等	<教材> 中部日本教育文化会「数学Ⅱ 基本問題精選」			

評価の観点 の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「数学Ⅱ」における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

月	単元	学習の内容	評価方法		
			知・技	思・判・表	主体的
4 5	第1章 式と証明	第1節 式と計算 1. 多項式の乗法と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算 4. 分数式の乗法・除法 5. 分数式の加法・減法 6. 恒等式	□ 定	□ 定 提	観 発 提
		第2節 等式・不等式の証明 7. 等式の証明 8. 不等式の証明 9. 相加平均と相乗平均 【1学期中間考査】	□ 定	□ 定	観 提
6	第2章 複素数と方程式	第1節 複素数と2次方程式の解 1. 複素数 2. 2次方程式の解と判別式 3. 解と係数の関係	□ 定	□ 定 提	観 発 提
		第2節 高次方程式 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式の解法	□ 定	□ 定	観 提
7	第3章 図形と方程式	第1節 点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の平行と垂直	□ 定	□ 定	観 提
		第2節 円 5. 円の方程式 6. 円と直線 【1学期期末考査】	□ 定	□ 定 提	観 提

9		第3節 軌跡と領域 7. 軌跡 8. 不等式の表す領域 9. 連立不等式と領域	ワ 定	ワ 定 提	観 提
	10	第4章 三角関数	第1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法 3. 三角関数 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数を含む方程式、不等式	ワ 定 小	ワ 定 提
第2節 加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成			ワ 定	ワ 定	観 提
11		【2学期中間考査】			
12	第5章 指数関数と対数関数	1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ 3. 対数 4. 対数の性質 5. 対数関数とそのグラフ 6. 常用対数	ワ 定 小	ワ 定 提	観 発 提
	1	第6章 微分法と積分法	第1節 微分法 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. いろいろな関数の微分	ワ 定	ワ 定 提
第2節 積分法 9. 不定積分 10. 不定積分の計算 11. 定積分 12. 定積分の性質 13. 面積			ワ 定	ワ 定 提	観 提
2					
3		【学年末考査】			

評価方法

: ワークシート・ノート
 : 提出物
 : 定期考査
 : 小テスト
 : 発表
 : 観察
 など